２０１６年6月２１日　学生部

２０１６年度『立命館大学正課外活動活性化・高度化助成金「高度化活動助成(５月募集)」』　選考結果

『立命館大学正課外活動活性化・高度化助成金「高度化活動助成(５月募集)」』につきまして、厳正な選考の結果、以下の団体を採用団体として決定しましたので、お知らせいたします。なお、採用団体につきましては、採用通知書の交付、査定金額の発表を含めた説明会を行いますので、以下の指示に従ってください。

■採用団体一覧　＊順不同

以下に記載されている団体は、申請されたキャンパスの「採用説明会」に参加してください。

※申請されたキャンパスと異なるキャンパスで採用説明会に参加したいクラブは事前に連絡してください。

＜スポーツ分野＞

体育会公認　男子バスケットボール部	体育会公認　射撃部
体育会公認　空手部	体育会公認　バレーボール部
体育会公認　男子陸上競技部	体育会公認　女子陸上競技部
体育会公認　女子ラクロス部	体育会公認　アイスホッケー部
体育会公認　少林寺拳法部	体育会公認　ゴルフ部
体育会公認　硬式庭球部	体育会公認　男子ラクロス部
体育会公認　航空部	体育会公認　合気道部
体育会公認　スキー部	体育会公認　スケート部フィギュア部門
体育会公認　フェンシング部	体育会公認　馬術部
体育会公認　剣道部	体育会公認　相撲部
体育会公認　男子ソフトボール部	体育会公認　バドミントン部
体育会公認　女子バスケットボール部	体育会公認　水泳部（競泳）
体育会公認　卓球部	体育会公認　体操部
体育会公認　女子ハンドボール部	体育会公認　男子柔道部
体育会公認　カヌー部	体育会公認　ウィンドサーフィン同好会
体育会公認　水泳部（水球）	体育会公認　アーチェリー部
体育会公認　スポーツ編集局	体育会公認　体育会本部

＜文化・芸術・研究ものづくり分野＞

学芸総部公認団体　邦楽部	学芸総部公認団体　能楽部
学芸総部公認団体　競技ダンス部	学芸総部公認団体　書道部
学芸総部公認団体　茶道研究部	学芸総部公認団体　モダンジャズバレエ部
学芸総部公認団体　落語研究会	学芸総部公認団体　混声合唱団メディックス
学芸総部公認団体　陶芸部	学芸総部公認団体　マンドリンクラブ
学芸総部任意団体　劇団西一風	学芸総部任意団体　アカペラサークル Clef
学芸総部任意団体　Song-genics	学術公認団体　ライフサイエンス研究会
学術公認団体　経済科学研究会	学術公認団体　法友会

学術公認団体	社会科学研究会		
登録団体	Fusion of Gambit	登録団体	Hawaiian Circle meahula
登録団体	Ritsumeikan Parliamentary Dabate Culb		
登録団体	phototo	登録団体	学習支援団体 Apolon
登録団体	ミュージカルサークル	登録団体	京炎そでふれ！おどりっつ
登録団体	BRISE MUSIC		

＜採用説明会＞

■ BKC ： （スポーツ分野のみ）6 月 21 日（火）18:00～
【会場】プリズムハウス　P112
※文化・芸術・ものづくり分野は、個別に説明しますので、BKC 学生オフィス窓口までお越しください。

■ OIC ： 6 月 21 日（火）18:00～ 【会場】AS261 セミナールーム

■ 衣笠： 6 月 22 日（水）18:00～ 【会場】清心館 508 教室

＜講評＞

スポーツ分野については、出願企画が指導者招聘・強化合宿・遠征試合の大きく 3 つに分類されました。これら 3 つの分類において、各団体の現状や課題を踏まえた企画の出願がありました。選考においては、出願書類は各団体の取組みや目標を確認するためだけでなく、[助成金制度の趣旨に合致する企画かどうか]と [助成金制度趣旨の理解度]を測りました。また、出願書類に基づいたヒアリングでは、各団体・出願企画の補足説明を受け、体育会活動の到達点・課題・現状を総合的に評価しました。ヒアリングを通じて各団体の活動を改めて知る良い機会となり、課題・目標・現在の到達点を認識することができました。出願された企画の多くが各団体の目標達成、さらなる高度化に資するものであることが確認でき、今後一層の団体の活躍を期待します。

文化・芸術・研究ものづくり分野については指導者招聘や研修・合宿企画などの出願があり、今年度の目標、その達成に向けた団体の課題認識や計画の具体性、実現可能性が明確になされているものを評価しました。また、新しいことにチャレンジする意欲のある団体が多く、例年に比べ出願団体が増加したことも特徴的でした。不採用となった団体/企画についても、本制度の趣旨に鑑み、目標と高度化へ向けた計画を再考し、より団体の活性化に繋がる企画として実施されることを期待します。

採用された各団体は、その重みを自覚して企画に取り組むとともに、そこから得られた成果を十分に発揮してください。

以　上